

分野1 子ども・子育て支援

基本政策1 安心して子育てができる

安心して子どもを生み、育てることができ、すべての子どもが健やかに成長する“まち”を目指します。

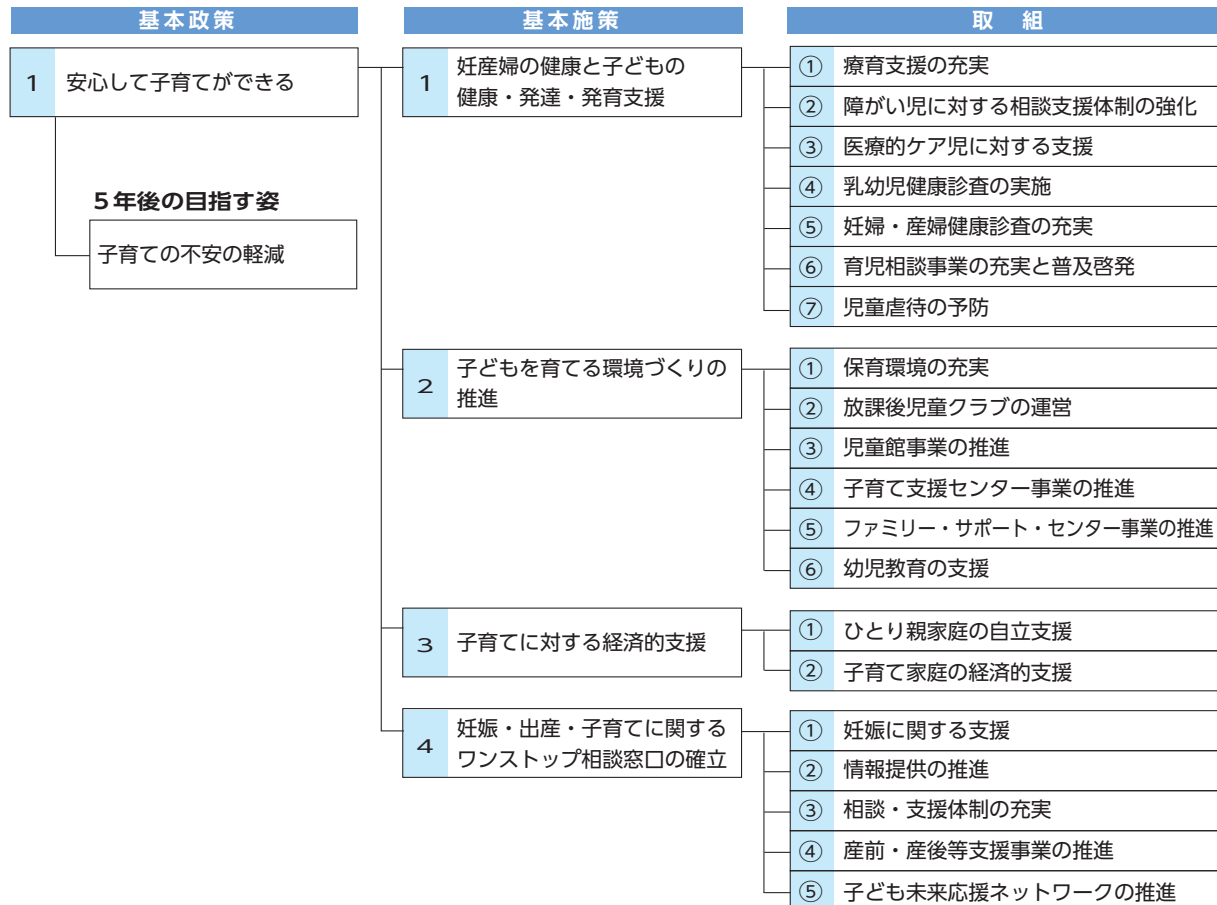
5年後の目指す姿

「子育ての不安の軽減」

地域全体の理解と協力を得ながら、子育て世代を支えるための支援体制を構築し、子育ての不安を軽減します。

数値目標	現状値	目標値
富士見市で子育てをすることについて「不安はない」と回答した市民の割合 (人口ビジョン策定に係るアンケート)	50.3% (R1)	55.5% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

1-1 妊産婦の健康と子どもの健康・発達・発育支援

健診・相談等を通して、妊婦、産婦、乳幼児の健康状態、発達・発育の状態の把握に努めます。また、課題に応じた一般的な支援から、療育、障がいや児童虐待など専門的な支援までを、関係機関と連携することで、継続的な支援体制を充実します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※小学校入学前の子どもがいる方で抽出（市民意識調査）	59.1%（H30）	64.1%（R7）

【主な取組】 乳幼児健康診査の実施

4ヶ月児、12ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児の各健診において、年齢に応じた発育・発達の課題の確認や相談を実施します。また、健診後のフォローや未受診児への訪問により、健診対象のすべての子どもの把握と保護者を含めた支援に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
乳幼児健診の実施	実施（R2）	⇒ 継続（R7）

1-2 子どもを育てる環境づくりの推進

保育所や放課後児童クラブの整備のほか、子育てに関する情報提供やファミリー・サポート・センター⁹など市民の力を活かした支援等により、子どもを育てる環境づくりを総合的に推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	保育サービスなどの充実に対する満足度 ※中学生までの子どもがいる方で抽出（市民意識調査）	47.9%（H30）	57.9%（R7）

【主な取組】 保育環境の充実

待機児童の解消を目指し、保育所の整備等に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
保育所待機児童数	27人（R2）	⇒ 0人（R7）

脚注

9 子育ての手助けをしたい人（提供会員）と、手助けをして欲しい人（依頼会員）が会員になって、地域で子育てを助け合っていくシステム



1-3 子育てに対する経済的支援

医療費の助成や手当の支給等により、子育て家庭への経済的な負担の軽減を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※中学生までの子どもがいる方で抽出（市民意識調査）	61.8%（H30）	66.8%（R7）

【主な取組】 ひとり親家庭の自立支援

経済的な援助のほか、就労のための支援などを合わせて推進することで、ひとり親家庭の安定した自立への支援に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
児童扶養手当の受給資格者のうち、本人の所得が所得制限以上のため、受給していない人の数	77人（R1）	⇒ 112人（R7）

1-4 妊娠・出産・子育てに関するワンストップ相談窓口の確立

妊娠・出産から子育て期に至るまで、切れ目のない支援体制を実現するため、相談及び支援体制の拡充により、ワンストップ相談窓口の確立を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「子育て（教育を含む）をするうえで、相談できる人（場所）はありますか。」の設問に「いる/ある」と回答した人の割合（子育て支援に関するアンケート調査）	92.7%（R1）	97.0%（R7）

【主な取組】 相談・支援体制の充実

妊娠・出産・子育てに関する支援のため、保健師などの専門職員を配置し、必要な支援に気づき、関係機関や地域との連携を図りながら、適切な相談・支援へつなげます。

【KSF】	現状値	目標値
関係機関へ“気づき・つなぐマニュアル”の利用に関する説明の実施回数	16回（R1）	⇒ 22回（毎年度実施）
子ども未来応援センターが出席したケース会議 ¹⁰ の回数	18回（R1）	⇒ 48回（R7）

脚注

10 目の前にいる支援を必要としている子どもの事例に対し、支援方針と役割分担を決定するための会議



関連するSDGsゴール



すべての子どもが、夢に向かってチャレンジできるよう支援を行い、貧困の連鎖を断ち切るための取組を推進します。 **関連ターゲット (1-2)**



妊娠、出産から子育て期に至るまで、安心して子育てができる環境を整えます。 **関連ターゲット (11-1)**

関連計画等

富士見市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）

富士見市子どもの貧困対策整備計画（平成29年度～令和3年度）

第5期富士見市障がい者支援計画（令和3年度～令和5年度）

富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

子ども未来部 子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター、みずほ学園
健康福祉部 障がい福祉課



分野2 子ども・若者支援

基本政策2

夢に向かってチャレンジできる

子どもや若者が社会生活を円滑に営むことができ、夢や目標に向かってチャレンジできる“まち”を目指します。

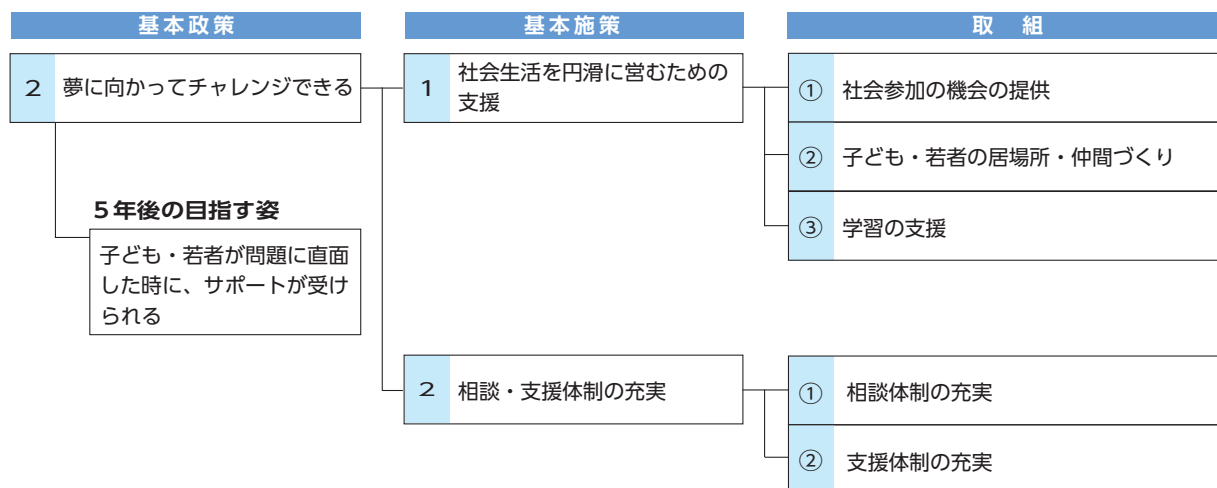
5年後の目指す姿

「子ども・若者が問題に直面した時に、サポートが受けられる」

子どもや若者が、学校生活や学業、就労などの不安や悩みを抱え込んでしまわないよう、サポートが受けられることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
サポートした（関わりを持った）子ども・若者数	—	延べ8人/年（R7）

【ロジックモデル】



基本施策

2-1 社会生活を円滑に営むための支援

就労体験などの社会参加の機会の提供や、居場所・仲間づくりのための活動等の支援など、社会生活を円滑に営むための支援を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	子ども・若者の居場所活動回数	延べ 490 回 / 年 (R1)	延べ 624 回 / 年 (R7)

【主な取組】 子ども・若者の居場所・仲間づくり

身近に利用できる子ども食堂や若者の居場所活動などに取り組む団体を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
子どもの居場所数（子ども食堂、学習支援教室、プレイパーク、若者支援の居場所数の合計）	16 ヶ所 (R2) ⇒	22 ヶ所 (R7)

2-2 相談・支援体制の充実

子ども・若者の不安や悩みなどをサポートするため、若者のための学び直し相談や支援のためのネットワーク強化など相談・支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	若者のための学び直し相談件数	4 件 / 年 (R1)	12 件 / 年 (R7)

【主な取組】 支援体制の充実

民間団体や地域団体との支援のためのネットワークの推進や、子ども未来応援基金¹¹のPR活動などに取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
若者支援を希望するサポーターの登録件数	延べ 42 件 (R2) ⇒	延べ 92 件 (R7)

脚注

11 子ども・若者が地域で安心して過ごすことのできる居場所づくり事業を応援するための基金



関連するSDGsゴール



生活困難な子ども・若者に気づき、適切な支援へ繋げ、貧困の連鎖を断ち切るための取組を推進します。 **関連ターゲット (1-2)**



すべての子ども・若者が、自らの希望に応じて学習の機会を平等に得られるための支援を行います。 **関連ターゲット (4-6、4-7)**

関連計画等

富士見市子どもの貧困対策整備計画（平成29年度～令和3年度）

関連部署

子ども未来部 保育課、子ども未来応援センター
健康福祉部 福祉政策課
教育部 生涯学習課





若者の学び直し相談



分野3 学校教育

基本政策3 児童生徒一人ひとりが輝く

「確かな学力・豊かな心・健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に努め、子どもたち一人ひとりを認め、励まし、褒める教育を行うことにより、児童生徒の夢と希望が育まれる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

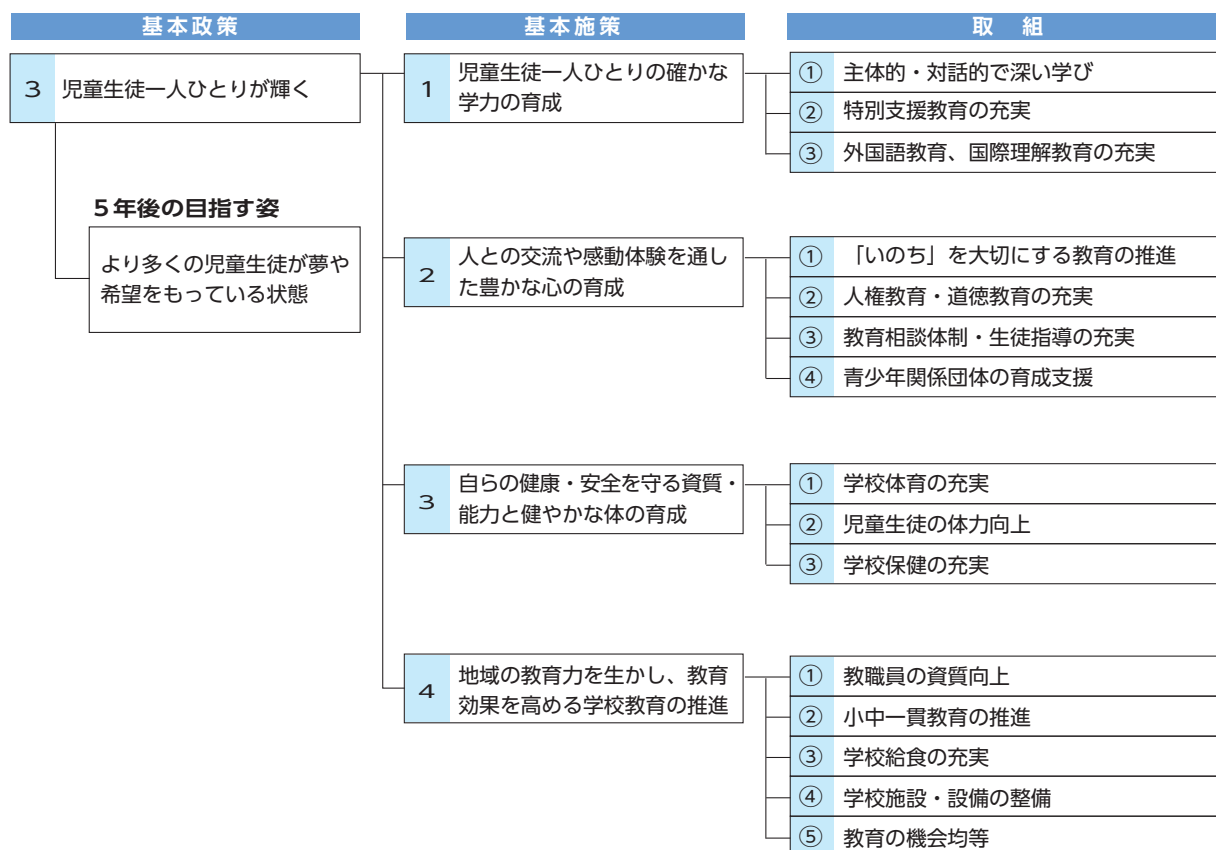
「より多くの児童生徒が夢や希望をもっている状態」

児童生徒が、楽しく学び、考え、自らの力で問題を解決したり、新たな課題を創り出したりするなど、主体的に物事に関わり、夢や希望をもっている状態を目指します。

数値目標	現状値	目標値
「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に「当てはまる」と回答した割合（全国学力・学習状況調査）	小6 72.8% 中3 69.3% (R1)	小6 78.0% 中3 75.0% (R7)

※上記「小」とは小学生を表し、「中」とは中学生を表しています。以下この分野において同じ。

【ロジックモデル】



基本施策

3-1 児童生徒一人ひとりの確かな学力の育成

「何を学ぶか」という学習内容を明確にし、「どのように学ぶか」という学びの過程を質的に高め、児童生徒一人ひとりの確かな学力を育成します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	思考力・判断力・表現力の向上 (県学力・学習状況調査の伸びの合計の県平均との比較)	小△1ポイント (R1) 中+2ポイント	小+2ポイント (R7) 中+5ポイント

【主な取組】主体的・対話的で深い学び

児童生徒が、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、STEM教育¹²等を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」に肯定的に回答した割合（全国学力・学習状況調査）	小 74.7% (R1) 中 79.2%	小 90.0% (R7) 中 90.0%

3-2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成

児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むため、人との交流や感動体験を通して、認められ励まされ褒められることで自尊感情を育てる教育を推進し、豊かな心を育成します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	いじめの解消率 (問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)	小 70.0% (R1) 中 87.3%	100% (R7)

【主な取組】人権教育・道徳教育の充実

自分を大切にするとともに、他者を尊重する態度を育て、豊かな人権感覚を身に付けた児童生徒を育成します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
「規律ある態度」（できる、だいたいできる）の項目数（県学力・学習状況調査）	85/96 項目 (R1)	96/96 項目 (R7)

脚注

12 STEMとは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の頭文字であり、これらを統合的に学び、ロボットやIT技術に触れて「自分で学ぶ力」を養う教育方法



3-3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成

児童生徒一人ひとりが運動の楽しさや喜びを味わうことで、健やかな体を育成するとともに、健康・安全について、実践的に理解できるようにします。

	指標	現状値	目標値
KPI	新体力テスト ¹³ の評価(A+B+C)の児童生徒割合の県平均との比較	小△5.1ポイント 中+0.3ポイント (R1)	小±0ポイント (R7) 中+3ポイント (R7)

【主な取組】 学校体育の充実

生涯にわたって運動に親しむ資質・能力の育成を図るとともに、運動好きな児童生徒を育てる体育授業を推進するなど、学校体育の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
「体育の授業は楽しい」と回答した割合の県平均との比較 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	小 男子△4.1ポイント 女子△8.5ポイント (R1) ⇒ 中 男子△4.6ポイント 女子△2.4ポイント	小 男子±0ポイント 女子±0ポイント (R7) 中 男子±0ポイント 女子+3ポイント

3-4 地域の教育力を生かし、教育効果を高める学校教育の推進

児童生徒が安心して通うことができ、保護者・地域から信頼される学校教育を推進するとともに、安全で快適な教育環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「学校に行くのが楽しい」と回答した割合 (全国学力・学習状況調査)	小 80.3% (R1) 中 80.3%	小 90.0% (R7) 中 90.0%

【主な取組】 教職員の資質向上

若手教員育成指導員¹⁴による指導の充実や学校研究等を通して、教職員の指導力向上に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
「国語の授業がよくわかる」と回答した割合 (全国学力・学習状況調査)	小 80.2% (R1) ⇒	小 90.0% (R7)

脚注

13 国民の体力・運動能力の現状を把握するため、文部科学省が実施する運動能力調査。各調査項目を点数化し、合計点数によりA～Eの5段階で評価とするもの

14 若手教員の指導力向上のために指導にあたる校長のOB等



関連するSDGsゴール



児童生徒一人ひとりが適切な教育機会に恵まれるとともに、自尊感情が育まれる教育を推進します。 **関連ターゲット (1-2)**



理数教育や ICT 教育など、科学的思考力の育成に努め、自己教育力を育成します。 **関連ターゲット (4-1、4-4)**



「特別な教科 道徳」の授業を要とした道徳教育を推進します。
関連ターゲット (5-5、5-c)

関連計画等

第2次富士見市教育振興基本計画（平成30年度～令和4年度）

関連部署

協働推進部 人権・市民相談課

子ども未来部 子育て支援課

教育部 教育政策課、生涯学習課、学校教育課、教育相談室、学校給食センター



分野4 地域福祉

基本政策4 住み慣れた地域での安心した心地よい暮らしの実現

市民が、生活の拠点である住み慣れた地域に根ざし、ともに支え合いながら、安心・充実した生活を送ることで、心地よい暮らしが実現できる“まち”を目指します。

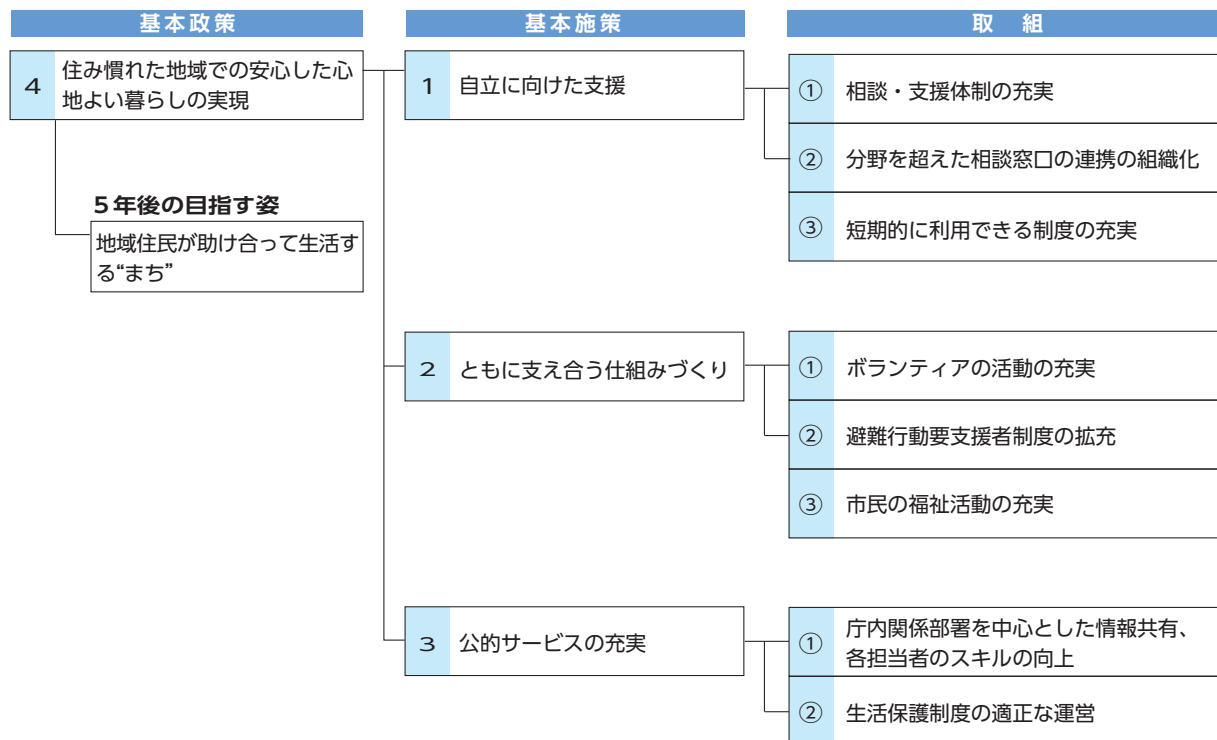
5年後の目指す姿

「地域住民が助け合って生活する“まち”」

地域住民、福祉関係機関等様々な人や団体が、助け合いながら生活できる住みよい“まち”を目指します。

数値目標	現状値	目標値
市の福祉施策（福祉のまちづくり）に関する満足度（市民意識調査）	56.1%（H30）	70.0%（R7）

【ロジックモデル】



基本施策

4-1 自立に向けた支援

一人ひとりが、安心した生活を送ることができるよう支援し、自立できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	生活保護制度における保護率	1.52%(R1)	1.34%(R7)

【主な取組】相談・支援体制の充実

生活サポートセンター☆ふじみ¹⁵にて行われている、生活困窮者やその家族等への相談・支援体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
生活サポートセンター☆ふじみでのプラン作成件数	56件/年(R1) ⇒	80件/年(R7)

4-2 とともに支え合う仕組みづくり

市民同士、市民と福祉関係機関等様々な人や団体が、住みよい“まち”となることを目指し、ともに支え合う仕組みづくりを進めます。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域活動に参加したことがない人の割合 (市民意識調査)	40.1%(H30)	38.5%(R7)

【主な取組】避難行動要支援者制度の拡充

災害時に自力で避難することが困難な方が、地域での支え合いにより避難できるよう、制度の拡充に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
年間外部提供同意者 ¹⁶ 数	35人(R1) ⇒	75人(R7)

脚注

15 仕事や生活費などでお困りの方に対して、専門のスタッフが相談に応じ自立に向けた支援を行う機関

16 避難行動要支援者名簿対象者のうち、支援機関等に情報提供することに同意していただいた方



4-3 公的サービスの充実

自らの力や地域での支え合いだけでは解決できない生活課題に対し、その課題に合ったサービスを適用できるように関係部署との連携強化などを行うことで、公的サービスを充実します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	ケースワーカーの月平均訪問件数（一人当たり）	18.2 件(R1)	20.0 件(R7)

【主な取組】 庁内関係部署を中心とした情報共有、各担当者のスキルの向上
公的サービスを必要とする方が、適切なサービスを利用できるよう関係部署間での情報共有や各担当者のスキルの向上を図っていきます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
担当者勉強会の回数	8 回 / 年(R1)	⇒ 12 回 / 年(R7)

関連するSDGsゴール



災害時に脆弱な立場にある人が、地域の支え合いにより避難行動が取れるシステムを拡充していきます。 **関連ターゲット (11-5)**



地域の支え合い、適切な公助の適用等により虐待による暴力の低下に寄与していきます。 **関連ターゲット (16-1、16-2)**



民生委員・児童委員や社会福祉協議会、社会福祉活動団体など地域福祉活動の担い手との連携を強化し、ともに生きるまちづくりに取り組みます。
関連ターゲット (17-17)

関連計画等

第3次富士見市地域福祉計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

健康福祉部 福祉政策課





富士見市社会福祉協議会(市民福祉活動センター「ぱれっと」内)



分野5 高齢者福祉

基本政策5 人生100年時代を見据えた健康長寿を目指す

住み慣れた地域で自分らしい自立した在宅生活を送るために、活動的に過ごすことで心身機能の維持・向上に努め、健康長寿を実現する“まち”を目指します。

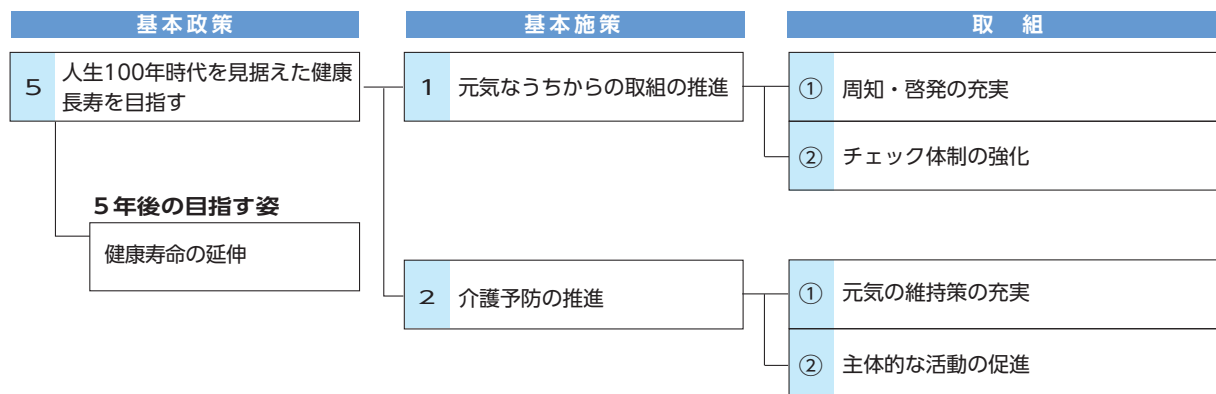
5年後の目指す姿

「健康寿命¹⁷の延伸」

市民が、主体的にフレイル（加齢に伴う心身の活力が低下した状態）の予防や自主的活動に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。

数値目標	現状値	目標値
健康寿命	男性 17.15年 女性 19.95年 (H30)	男性 17.85年 女性 20.65年 (R7)

【ロジックモデル】



脚注

17 65歳に達した市民が健康で自立した生活を送ることができる期間



基本施策

5-1 元気なうちからの取組の推進

市民が自らの健康に関心を持てるよう、身近な場所で気軽にフレイルチェックや健康相談、健康講座を受けられる機会を確保し、フレイル予防の啓発に努めるなど元気なうちからの取組を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	フレイルを知っている割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	13.2%(R2)	40.0%(R7)

【主な取組】チェック体制の強化

フレイルに関する知識の普及啓発を図り、その兆候に早く気づき、最適な介護予防活動に取り組めるよう、フレイルチェックを強化します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
フレイルチェック事業参加者数	0人/年(R1)	⇒ 460人/年(R7)

5-2 介護予防の推進

市民が、自ら心身機能の維持・向上に努め、介護予防に取り組めるよう、フレイルに関する情報提供や早期発見と正しい対処について周知啓発を図り、自主的活動の担い手の育成を進めるなど介護予防を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	地域での活動に参加していない方の割合 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	21.0%(R1)	18.0%(R7)

【主な取組】元気の維持策の充実

個々人の心身機能に合わせ、介護予防を継続できる身近な場所として、ふじみパワーアップ体操クラブ¹⁸の増設や活動を支援するなど、元気の維持策の充実に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
パワーアップ体操クラブ数	56クラブ(R1)	⇒ 70クラブ(R7)

脚注

18 高齢者が運動や認知の力を維持することを目指して本市で考案した体操を行うクラブ



関連するSDGsゴール



フレイルの予防に取り組むなど、様々な社会資源を活用した元気なうちからの取組を推進し、健康的な生活の継続を目指します。

関連ターゲット (3-8)



仲間とともに活動することで、健康づくりへの意欲喚起を図ることができるため、多くの人の参加のもと健康づくりを進めます。

関連ターゲット (17-17)

関連計画等

第8期富士見市高齢者保健福祉計画（令和3年度～令和5年度）

富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

市民部 保険年金課

健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター





フレイルチェック(片足立ち上がり)



ふじみパワーアップ体操クラブ



分野5 高齢者福祉

基本政策6

社会（地域）参加できる

高齢になっても健康を維持し、充実した日々を送るため、社会参加や活動ができる自分の居場所を見つけ、いつまでも地域とつながりを持ち、社会（地域）参加できる“まち”を目指します。

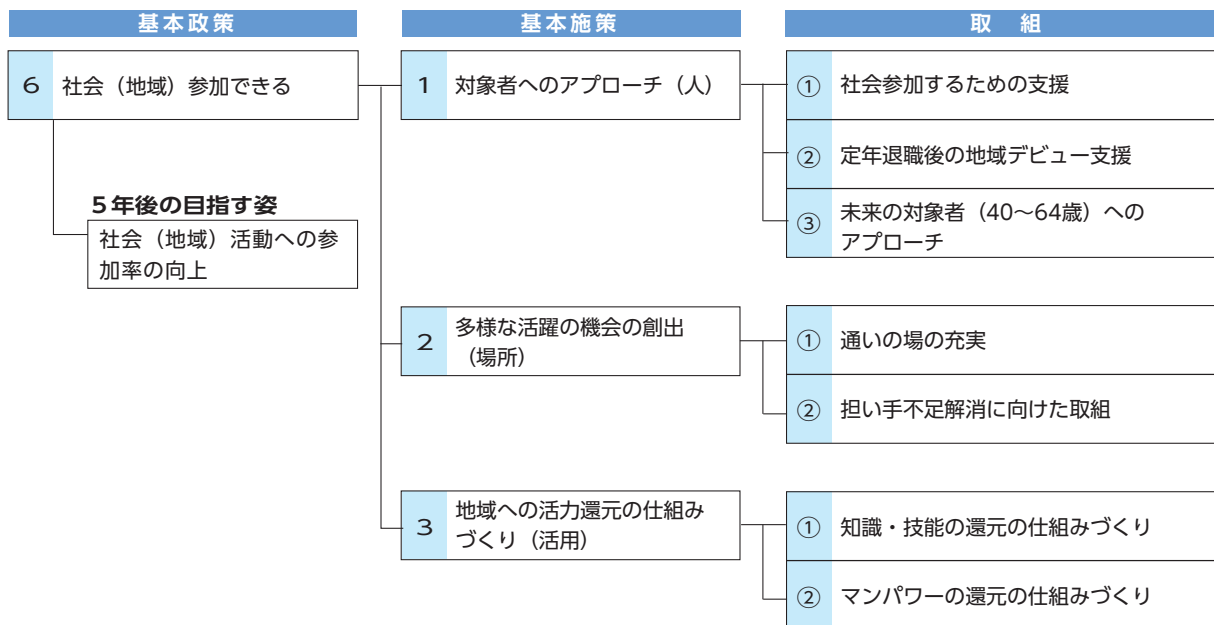
5年後の目指す姿

「社会（地域）活動への参加率の向上」

現在どのような社会（地域）活動があるのかを知るとともに、多様なニーズに合った活躍できる場が、これまで以上に増えることで、社会（地域）活動の参加意欲を醸成します。

数値目標	現状値	目標値
社会（地域）活動への参加率 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	65.0% (R1)	75.0% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

6-1 対象者へのアプローチ（人）

多種多様なニーズを把握し、効果的に各種活動を周知することで、どのような社会（地域）活動があるのかを知ってもらい、移動手段も含め、活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	社会（地域）活動の認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	現状より+20% (R7)

【主な取組】定年退職後の地域デビュー支援

定年退職後の地域デビューを支援するため、地域自主活動グループの育成など、アクティブシニア¹⁹の活躍に資する取組を推進します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
アクティブシニアの参加者数	—	⇒ 現状より+10% (R7)

6-2 多様な活躍の機会の創出（場所）

多種多様なニーズに対応できる活動・活躍できる場所を拡充していくため、地域や施設などにおいて活動・活躍する機会の創出を図ります。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	社会（地域）活動の認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	現状より+20% (R7)

【主な取組】担い手不足解消に向けた取組

現役世代の減少による担い手不足解消に向け、介護事業所などで就労する際に役立つ「介護のお仕事入門研修」を開催し、修了者の就労を目指します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
介護のお仕事入門研修修了者の就労数	0人(R1)	⇒ 10人(R7)(累計)

脚注

19 仕事・趣味などに意欲的で、健康意識が高い傾向にある活発な高齢者




6-3 地域への活力還元の仕組みづくり（活用）


社会参加する方を増やすとともに、社会が高齢者を必要とする環境を整え、これまで培った知識・経験・技能を社会に還元できる仕組みの構築を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域で活躍している高齢者の割合 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	—	現状より+20% (R7)

【主な取組】 マンパワーの還元の仕組みづくり ボランティアやシルバー人材センターの会員登録者数を増やすなど、意欲ある高齢者と地域のニーズを結びつけ、地域社会で活躍する高齢者を増やす取組を進めます。			
	【KSF】	現状値	目標値
	介護支援ボランティアポイント事業 ²⁰ の登録者数	245人(R1)	⇒ 360人(R7)

関連するSDGsゴール

- 

社会（地域）活動への参加により、あらゆる人々の活躍を推進し、誰もが活躍できる社会の実現を目指します。 **関連ターゲット（8-5）**
- 

様々なパートナーシップを推進し、社会参加に向けて協力することで、活躍の場を増やしていきます。 **関連ターゲット（17-17）**

関連計画等

第8期富士見市高齢者保健福祉計画（令和3年度～令和5年度）

関連部署

- 市民部 保険年金課
- 健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター
- 都市整備部 都市計画課

脚注

20 65歳以上の方が登録し、「介護支援ボランティア」として、市が指定する介護保険施設等でボランティアとして活躍する事業





分野5 高齢者福祉

基本政策7 住み慣れた地域での継続した生活の実現

介護や支援が必要になった時にすぐに相談ができ、医療・介護・地域・福祉の連携したサービスなどを利用しながら、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと暮らしていける“まち”を目指します。

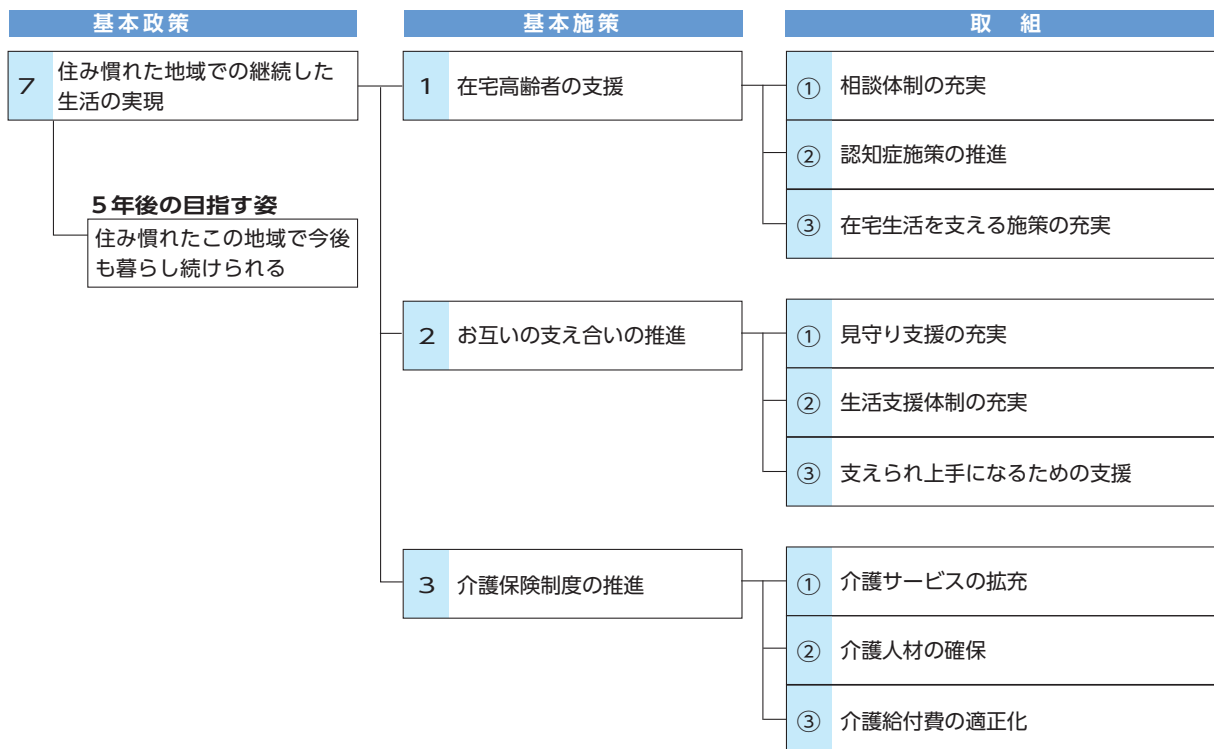
5年後の目指す姿

「住み慣れたこの地域で今後も暮らし続けられる」

介護保険サービスや在宅高齢者施策の活用、地域での支え合い活動など、適切な支援を受けながら安心して生活できる環境を整え、様々な社会資源の活用により、住み慣れた地域で今後も暮らし続けられることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
住み慣れたこの地域で今後も暮らし続けられると回答した人の割合(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	—	現状より+10% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

7-1 在宅高齢者の支援

身近な地域で、きめ細やかな相談や支援ができるよう、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター²¹）や関係機関を含めた相談体制の強化に努めるなど、高齢者が在宅生活を継続できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	在宅高齢者支援施策に対する満足度 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	現状より+10% （R7）

【主な取組】相談体制の充実

在宅高齢者やその家族に対して適切な支援ができるよう、高齢者あんしん相談センターと関係機関の連携を強化します。また、必要な時に速やかに相談につながるよう、相談窓口の周知に努めます。

【KSF】	現状値	目標値
高齢者あんしん相談センターの認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	34.0% (R1)	⇒ 50.0% (R7)

7-2 お互いの支え合いの推進

多様な主体による生活支援サービスを拡充し、地域の課題を住民同士で考え、お互いに支え合えるまちづくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	支え合い活動に取り組んでいる人の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	現状より+10% （R7）

【主な取組】生活支援体制の充実

生活支援コーディネーター²²を中心として、地域における関係機関の連携を強化し、ニーズの把握及び住民主体のサービスの創出やボランティアの育成など、生活支援体制の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
第2層、第3層協議体 ²³ 数	—	⇒ 5ヶ所 (R7)

脚注

- 21 保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が協力して、高齢者の方やそのご家族、地域の方からの、介護保険の利用や生活支援、介護予防など高齢者に関する様々な相談に対応する機関。高齢者あんしん相談センターは、地域包括支援センターの愛称
- 22 地域における支え合いの自主組織の形成を支援する人
- 23 協議体は、地域課題を協議するコミュニティのことで、第1層協議体はすでに市全域を対象として組織されている。第2層協議体とは、高齢者あんしん相談センターの日常生活圏域ごとに組織される。第3層協議体とは、第2層の中の小さなコミュニティで組織される。



7-3 介護保険制度の推進

事業所や施設の拡充を進めるとともに、介護人材確保策の強化や介護給付費の適正化の取組を強化し、介護や支援を必要とする方が、必要な時に、適切なサービスを受けられる制度運用を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	在宅サービスの利用割合	—	現状より+10% (R7)
	特別養護老人ホーム入所待機者数	157人(R1)	120人(R7)

【主な取組】介護サービスの拡充
ニーズや供給量などを総合的に判断した上で、地域密着型介護老人福祉施設、通所介護施設などのサービス提供事業所の整備等、介護サービスの拡充を検討します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
介護事業所・施設数	54ヶ所(R1)	⇒ 57ヶ所(R7)

関連するSDGsゴール



介護保険は、最も重要なセーフティネットのひとつであることから、すべての市民に公平で質の高いサービスを提供するように努めます。

関連ターゲット (1-3)



在宅高齢者の支援を強化し、介護者の負担の軽減に努めながら、すべての人々の福祉を推進します。

関連ターゲット (3-8)

関連計画等

第8期富士見市高齢者保健福祉計画（令和3年度～令和5年度）

関連部署

健康福祉部 高齢者福祉課





小規模多機能型居宅介護(通所サービス)



分野6 障がい福祉

基本政策8

自立した生活を送ることができる

「障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支えあう“まち”ふじみ」を基本理念として、障がいのある人の尊厳と権利が保障され、地域で自立して生活できる“まち”を目指します。

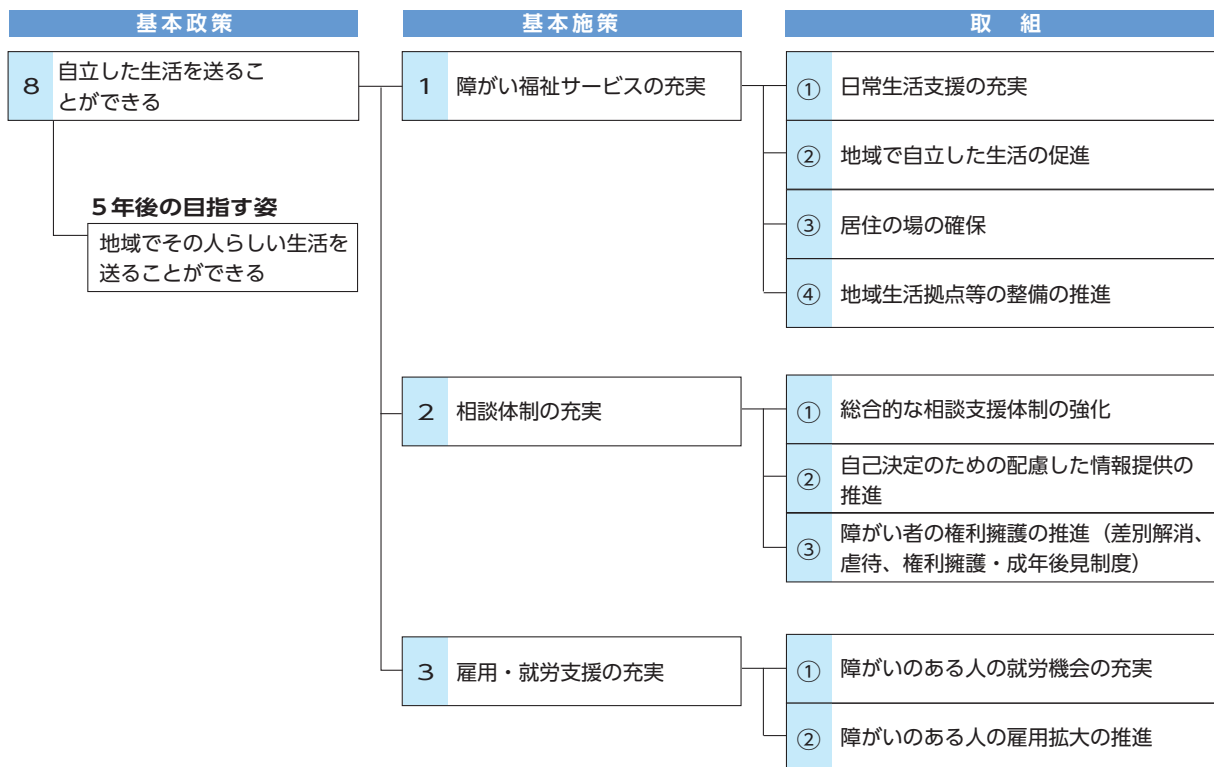
5年後の目指す姿

「地域でその人らしい生活を送ることができる」

障がいのある人が、様々な障がい福祉サービスを利用しながら、自分の持てる力を活かし、その人に合った生活が送れることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
暮らしやすい（「どちらかというと」も含む）人の割合 （障がい者福祉についての実態調査）	42.1%（H29）	60.0%（R7）

【ロジックモデル】



基本施策

8-1 障がい福祉サービスの充実

必要なサービス提供基盤を充実させるなど、支援体制を強化し、障がいのある人が安心して地域で生活できることを目指し、障がい福祉サービスを充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	自宅、グループホームで暮らしたい人の割合 (障がい者福祉についての実態調査)	70.9%(H29)	80.0%(R7)

【主な取組】 地域で自立した生活の促進

保健、医療、福祉、その他地域の関係者間の連携を強化し、精神科病院に長期入院している方や、障がい者施設に長期入所している方が、その人に合った地域での自立した生活を実現していけるよう取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
社会的入院 ²⁴ 患者の退院数	0人/年(R1)	⇒ 1人以上/年(R7)

8-2 相談体制の充実

地域で生活する中で、障がいのある人が利用できる支援の情報が得られ、地域で孤立することなく、困ったことが相談できる体制の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	どこでどんな相談ができるかわからない人の割合 (障がい者福祉についての実態調査)	23.5%(H29)	10.0%(R7)

【主な取組】 総合的な相談支援体制の強化

富士見市障害者施策推進協議会²⁵において、富士見市障がい者基幹相談支援センター²⁶をはじめ、各相談支援事業所の活動について検証し、総合的な相談支援体制を強化します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部会の開催数	3回/年 (R1)	⇒ 3回以上/年 (R7)

脚注

- 24 入院による治療が必要ではない患者が、家族や地域の施設などの受け入れ先がないため退院できずに長期的に入院をすること
 25 障がいのある人について、地域の実情に応じた支援体制の整備を協議する附属機関
 26 障がいのある人の日常生活での困りごとや悩み事、障がい福祉サービスの利用についてなど、様々な相談に応じる機関



8-3 雇用・就労支援の充実

障がい特性やその人の能力に応じた仕事に就き、継続して仕事が続けられるよう、支援するとともに、雇用の拡大を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	就労支援センター登録者の一般就労と福祉的就労 ²⁷ 者数	延べ182人 (R1)	延べ364人 (R7)

【主な取組】障がいのある人の就労機会の充実

就労に関する相談及び助言、職場定着支援、事業所の開拓、離職後の調整、企業等との調整、日常生活面に関する助言などにより、障がいのある人の就労機会を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
障がい者就労支援センターの相談件数	538人/年(R1)	⇒ 1,087人/年(R7)

関連するSDGsゴール



障がいのある人が、生産的な雇用や働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）につながる取組を促進します。 **関連ターゲット (8-5)**



障がい、その他の状況を理由とした、社会的、経済的不平等を是正します。 **関連ターゲット (10-2)**

関連計画等

第5期富士見市障がい者支援計画（令和3年度～令和5年度）

関連部署

健康福祉部 障がい福祉課

脚注

27 就労支援施設などで福祉サービスを受けながら働く働き方のこと





むさしの作業所(ドライフラワー)



分野6 障がい福祉

基本政策9

ともに生き、ともに支えあう

障がいに対し、市民一人ひとりが理解を深めるとともに、障がいのある人が、その人らしく住み慣れた地域で暮らせる環境づくりを進めることで、障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支え合う「共生社会の実現」を目指します。

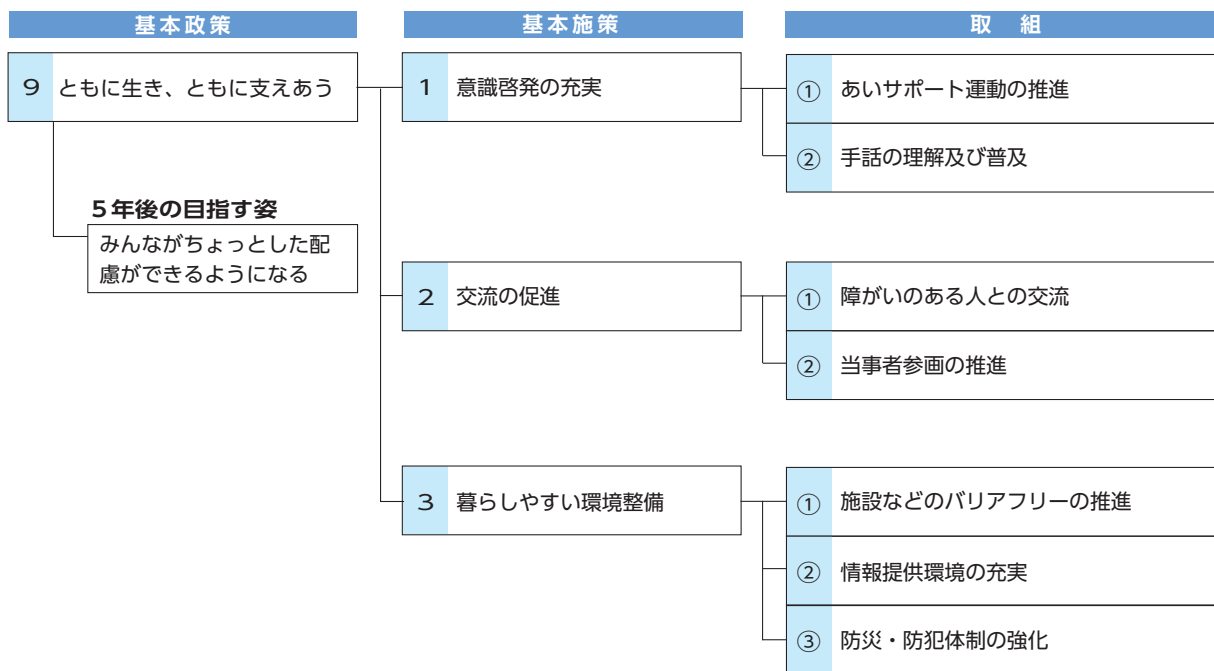
5年後の目指す姿

「みんながちょっとした配慮ができるようになる」

共生社会の実現に向けて、市民一人ひとりが、障害者差別解消法²⁸の趣旨を理解し、障がいのある人へ必要な配慮ができることを目指します。

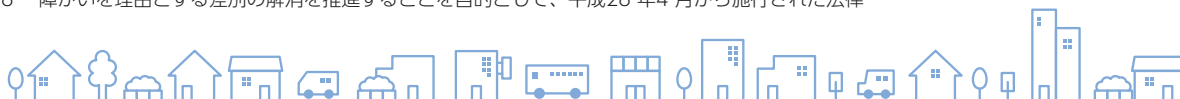
数値目標	現状値	目標値
障害者手帳所持者等のうち配慮がなく困った経験がある人の割合（障がい者福祉についての実態調査）	33.0%（H29）	27.0%（R7）

【ロジックモデル】



脚注

28 障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28年4月から施行された法律



基本施策

9-1 意識啓発の充実

家庭、地域、学校、企業などにおいて、偏見や差別を解消するため、障がいに対する正しい知識と理解を広める意識啓発を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	障害者差別解消法について知っている人の割合 (障がい者福祉についての実態調査)	30.9%(H29)	50.0%(R7)

【主な取組】あいサポート運動²⁹の推進

障がいのある人が、地域の中で自分らしく安心して暮らせる社会の実現を目指して、障がいに対する正しい知識を持ち、ちょっとした配慮ができる「あいサポーター」を養成します。

【KSF】	現状値	目標値
あいサポーター数	6,762人(R1)	⇒ 12,397人(R7)

9-2 交流の促進

各種活動に積極的に参加する意欲を高めるとともに、障がいのある人とない人とが交流機会を増やすなど、心のバリアを解消する交流を促進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	障がいのある人と交流（啓発イベントやボランティアに参加）したことがある人の割合（webアンケート）	23.7%(R2)	30.2%(R7)

【主な取組】障がいのある人との交流

広く、障がいのある人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために、障がいのある人との交流事業等を実施していきます。

【KSF】	現状値	目標値
あいサポートイベントの開催	1回/年(R1)	⇒ 継続(R7)

脚注

29 障がいの有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい地域社会をみんなでつくっていかうとする運動



9-3 暮らしやすい環境整備

障がいのある人もない人も、すべての人々にとっての暮らしやすさにつながるよう、誰もが暮らしやすい環境整備を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	災害時、避難所の設備や必要な支援を受けられるかどうかについて不安を感じる割合 (障がい者福祉についての実態調査)	29.4%(H29)	15.0%(R7)

【主な取組】施設などのバリアフリーの推進
障がいのある人が利用しやすいよう、公共施設等の設備の改善を図り、バリアフリーに配慮した施設整備に努めます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
多目的トイレ ³⁰ の普及(公共施設における多目的トイレ数)	5ヶ所(R2)	⇒ 6ヶ所(R7)

関連するSDGsゴール



障がいなどを理由とした差別を解消し、その人らしさを認め合いながら、ともに生きる社会を目指します。 **関連ターゲット (10-2)**



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識を共有し、ともに生きる社会の構築に向け協力していきます。 **関連ターゲット (17-17)**

関連計画等

第5期富士見市障がい者支援計画 (令和3年度～令和5年度)

関連部署

危機管理課
健康福祉部 障がい福祉課
各公共施設

脚注

30 多機能トイレとユニバーサルシートの両方が設置されたトイレ





あいサポートバッジ



手話サークル活動の様子



分野7 健康づくり

基本政策10 心身ともに健康な状態で過ごすことができる

いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ（富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画）において、健康づくりの柱と捉えている食生活・運動・健康管理・こころ・口腔について、人生100年時代を見据え、ライフステージに応じた支援の充実を図り、望ましい生活習慣の定着を促すことで、健康づくりを推進し、市民が心身ともに健康な状態で過ごせる“まち”を目指します。

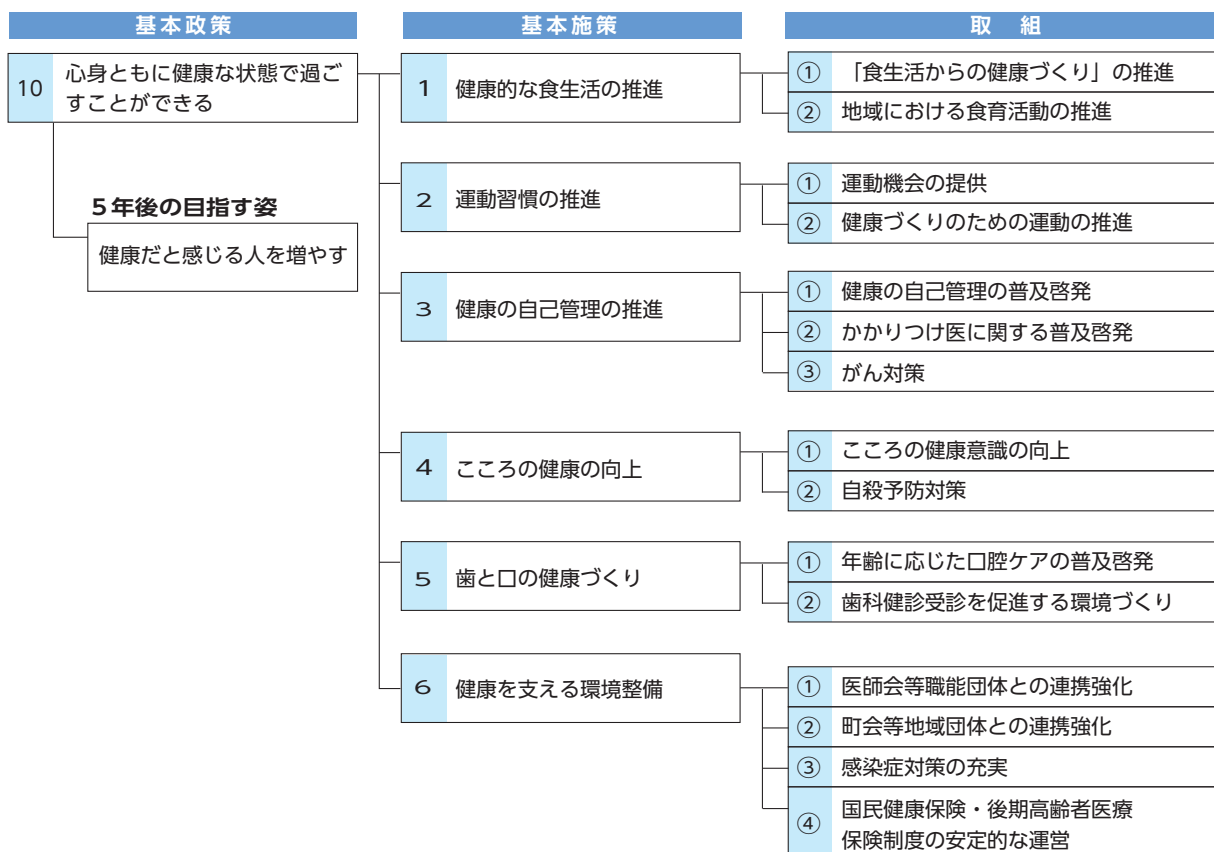
5年後の目指す姿

「健康だと感じる人を増やす」

市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組み、自ら健康だと感じる人を増やします。

数値目標	現状値	目標値
健康だと感じる人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	84.7% (R2)	88.5% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

10-1 健康的な食生活の推進

年齢に応じた食育や望ましい食習慣についての普及啓発を行い、栄養バランスのとれた健康的な食生活を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	バランスのよい食生活をしている人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	56.7% (R2)	70.0% (R7)

【主な取組】 地域における食育活動の推進

地域団体と協働し、身近な場所で健康的な食生活についての普及啓発を進めるなど、地域における食育活動の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
地域における食育活動の支援回数	57回/年 (R1) ⇒	67回/年 (R7)

10-2 運動習慣の推進

自分の健康状態や体力に応じた運動・身体活動に取り組めるよう、運動習慣づくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	運動習慣がある人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	20～64歳男性 20.8%	32.0%
		20～64歳女性 17.4%	35.0%
		65歳以上男性 32.4%	60.0%
		65歳以上女性 26.6% (R2)	50.0% (R7)

【主な取組】 運動機会の提供

運動習慣のない人が運動をはじめ、また、運動を継続できるよう、健康マイレージ³¹を広く周知するなど、楽しく運動する機会を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
健康マイレージの参加者数	1,663人 (R1) ⇒	3,700人 (R7)

脚注

31 通信機能付き歩数計やウェアラブル活動量計、スマートフォンアプリを使って手軽に健康づくりが実践できる事業



10-3 健康の自己管理の推進

かかりつけ医を持ち、定期的に健（検）診を受けられることができる環境を整え、自らの健康管理ができるようになることを目指します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	かかりつけ医を持っている人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	61.4% (R2)	71.1% (R7)

【主な取組】かかりつけ医に関する普及啓発
健康の自己管理を進めるため、かかりつけ医の必要性について、健康教育や健康相談等の様々な場面を通じて周知します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
普及啓発回数	2回/年(R1)	⇒ 10回/年(R7)

10-4 こころの健康の向上

様々なこころの健康問題について、正しい知識を得て、適切に相談や受診ができるよう、こころの健康に関する普及啓発や情報提供に努め、こころの健康の向上を目指します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	相談できる人や場所がない人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	29.5% (R2)	21.0% (R7)

【主な取組】自殺予防対策
自殺は、その多くが、様々な社会的要因によって心理的に追い込まれた末の死であることから、地域において、ゲートキーパー³²の育成や相談のできる居場所づくりの環境整備など、自殺予防対策に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
自殺者数	16人/年(R1)	⇒ 13人以下/年(R7) (平成27年比30%減少)

脚注

32 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人



10-5 歯と口の健康づくり

多くの市民が、歯と口の健康づくりについての知識を身につけ、自ら正しい口腔ケアを実践できることを目指します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	何でも噛んで食べることができる人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	77.0% (R2)	82.8% (R7)

【主な取組】年齢に応じた口腔ケアの普及啓発

年齢に応じた口腔ケアについて、関係機関との連携、協働により歯科口腔保健の知識の普及に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
歯科口腔教室の実施回数	40回/年(R1)	⇒ 45回/年(R7)

10-6 健康を支える環境整備

医師会や町会等の地域団体との連携を強化し、健康に関する情報の提供に努め、地域で健康を支える環境を整備します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	医療施設の情報が少ないと感じる人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	16.5% (R2)	12.4% (R7)

【主な取組】医師会等職能団体との連携強化

働き盛り世代や子育て世代には、ホームページや「子育て応援情報モバイルサイト スマイルなび³³」等を活用し、医療情報へアクセスしやすい環境を整えます。また、高齢者には広報富士見や健康講座等を通じて、医療情報を積極的に提供するなど、医師会・歯科医師会等との連携を強化します。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
医療情報の提供機会の充実	実施(R2)	⇒ 継続(R7)

脚注

33 妊娠期から子育て期に至るまでの「健康や子育て」について、役立つ情報を発信するサービス



関連するSDGsゴール



3 すべての人に健康と福祉を
すべての人々が健康的な生活を送れるように、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。 **関連ターゲット (3-4、3-5、3-8、3-a、3-d)**



17 パートナーシップで目標を達成しよう
様々な地域資源とともに、効果的な事業を展開します。
関連ターゲット (17-17)

関連計画等

富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画（令和3年度～令和7年度）

富士見市自殺予防対策計画（令和元年度～令和3年度）

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課

市民部 保険年金課

子ども未来部 保育課、子ども未来応援センター

健康福祉部 高齢者福祉課、障がい福祉課、健康増進センター

経済環境部 農業振興課

教育部 学校教育課、学校給食センター





生活習慣病予防講座(食講座)



分野8 スポーツ

基本政策11

スポーツで元気になる

子どもから高齢者、障がいのある人などすべての市民が、生き生きとした日常生活を送るために、体力や技術、興味、目的に応じたスポーツを通じ、元気になることができる“まち”を目指します。

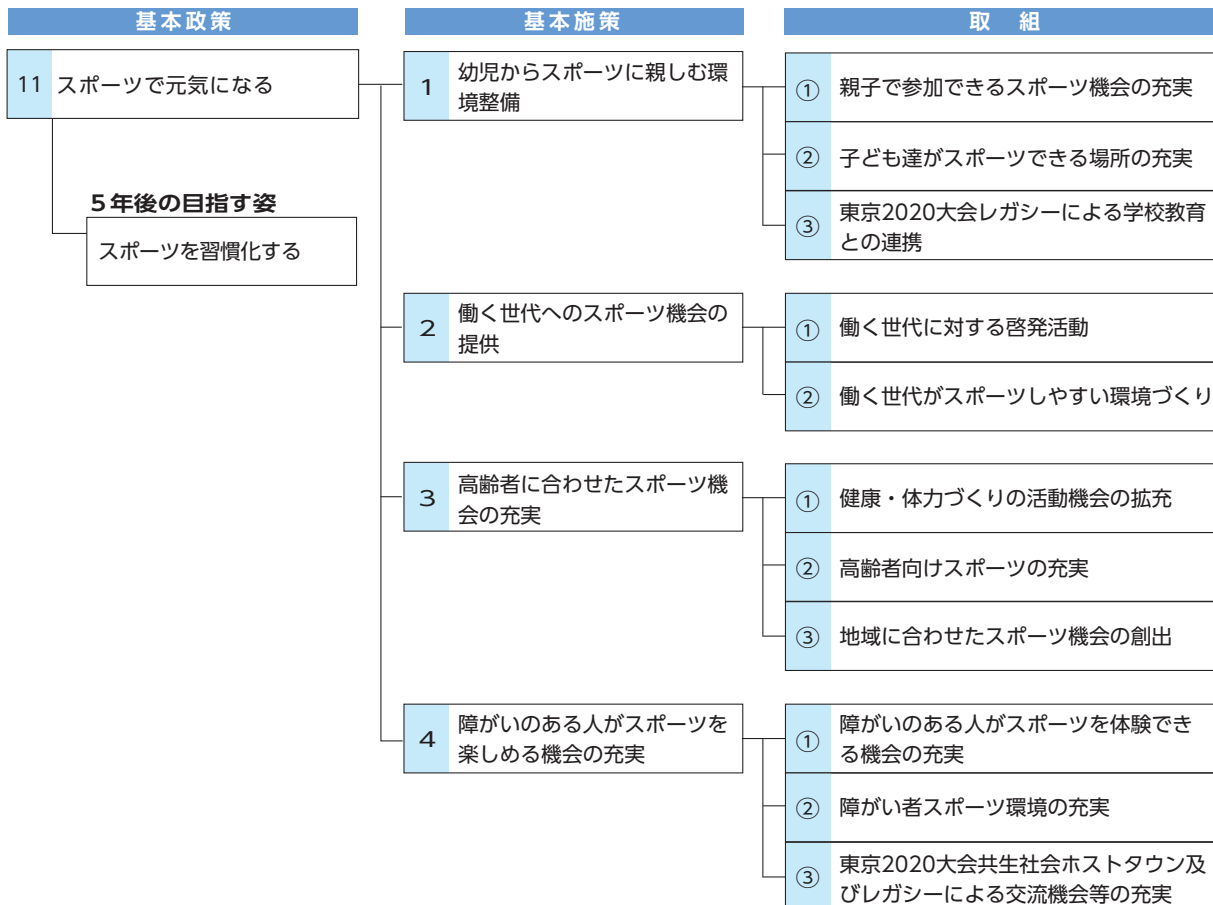
5年後の目指す姿

「スポーツを習慣化する」

心身ともに元気な状態を作るため、多くの市民がスポーツに習慣的に関わることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
週1回以上スポーツをする人の割合 (市民スポーツアンケート調査)	41.4% (H27)	50.0% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

11-1 幼児からスポーツに親しむ環境整備

幼児などが、「遊び」も含め様々な形で体を動かせる環境整備を推進します。また、小・中学生が、スポーツの魅力や楽しさ・大切さを知り、スポーツに親しむことができる環境整備を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	子どもがスポーツを好きという割合 (市民スポーツアンケート調査)	63.4%(H27)	70.0%(R7)

【主な取組】親子で参加できるスポーツ機会の充実

スポーツの魅力を伝え、心身の成長につなげることを目指し、親子で参加できるイベントや楽しめる体験事業など、スポーツ機会の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
子ども～未成年向け教室数	6事業/年(R1) ⇒ 7事業/年(R7)	

11-2 働く世代へのスポーツ機会の提供

地域の中で気軽にスポーツ活動に取り組める場を提供し、コミュニティの広がりや習慣的な健康づくりにつなげられるよう、働く世代へのスポーツ機会の提供を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	20～59歳の週1回以上スポーツをする人の割合 (市民スポーツアンケート調査)	22.4%(H27)	30.0%(R7)

【主な取組】働く世代に対する啓発活動

個人でも気軽に参加できる取り組みやすい内容を充実させ、働く世代に対するスポーツの啓発活動に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市民健康増進スポーツ大会 ³⁴ の参加者数	5,771人/年(R1) ⇒ 6,000人/年(R7)	

脚注

34 市民の体力増進とスポーツ・レクリエーションの普及、発展を目的とした約30種を実施する市民のスポーツ大会



11-3 高齢者に合わせたスポーツ機会の充実

健康や体力維持、フレイル予防や介護予防につなげられるよう、環境の整備と、高齢者に合わせたスポーツ機会を充実します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	60歳以上の週1回以上スポーツをする人の割合 (市民スポーツアンケート調査)	55.6%(H27)	60.0%(R7)

【主な取組】地域に合わせたスポーツ機会の創出
地域のニーズに合った体験や身近な活動機会の提供など、地域に合わせたスポーツ機会の創出に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
スポーツ推進委員地区事業 ³⁵ の参加人数	206人/年(R1)	⇒ 230人/年(R7)

11-4 障がいのある人がスポーツを楽しめる機会の充実

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の共生社会ホストタウン³⁶や、そのレガシー³⁷を活かしながら、障がいのある人がスポーツを楽しめる機会を充実します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	障がい者スポーツを体験したり見たことがある人の割合 (市民スポーツアンケート調査)	—	40.0%(R7)

【主な取組】障がいのある人がスポーツを体験できる機会の充実
障がいの有無にかかわらず、障がい者スポーツを体験できる機会の充実に取り組みます。

【KSF】	現 状 値	目 標 値
障がいのある人もない人も楽しめる障がい者スポーツ体験教室の開催数	2回/年(R1)	⇒ 3回/年(R7)

脚注

35 市の生涯スポーツ推進を目的に、小学校区ごとに配置されたスポーツ推進委員が実施するその地域に適した地区ごとの事業

36 パラリンピアンとの交流などをきっかけに、共生社会の実現に向け取り組む、国に登録された自治体

37 オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のこと。



関連するSDGsゴール



市民が、平等かつ公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上での基盤づくりとして、スポーツを通じた健康づくりに取り組みます。

関連ターゲット (4-2、4-3)



経験や知識、技術を共有しながら多様なスポーツ機会の提供を通じ、様々なパートナーシップを推進していきます。

関連ターゲット (17-17)

関連計画等

富士見市スポーツ推進計画（平成 29 年度～令和 3 年度）

第 2 次富士見市教育振興基本計画（平成 30 年度～令和 4 年度）

第 3 次富士見市生涯学習推進基本計画（令和 3 年度～令和 7 年度）

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課

健康福祉部 健康増進センター

教育部 生涯学習課



分野8 スポーツ

基本政策12

スポーツにより交流が活性化する

地域のあらゆるスポーツ活動を通して、市民の交流が活性化していく“まち”を目指します。

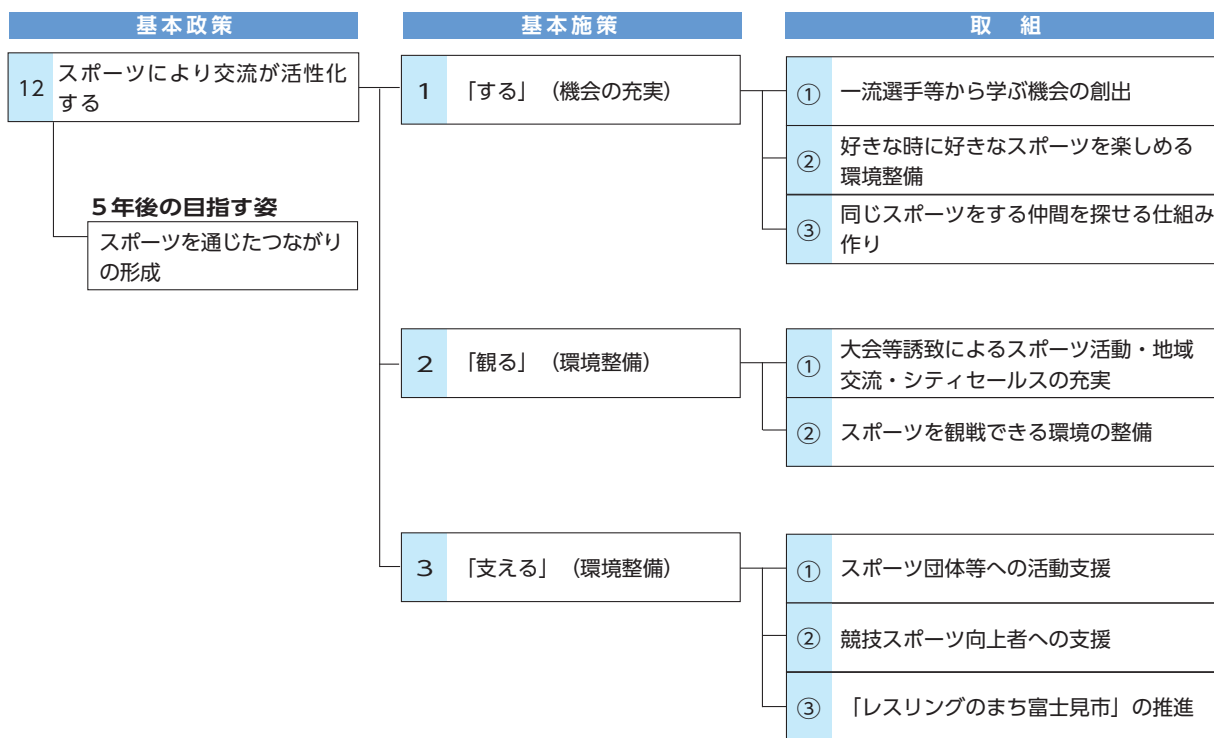
5年後の目指す姿

「スポーツを通じたつながりの形成」

多くの市民が、「する」、「観る」、「支える」の観点からスポーツにかかわりを持ち、それぞれの取組が、市民のつながりの形成となることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
スポーツ行事への参加率 (市民スポーツアンケート調査)	29.5%(H27)	40.0% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

12-1 「する」(機会の充実)

市民があらゆる形でスポーツ活動に参加し、交流を深めることができるよう、「する」機会の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツをすることが「好き」という割合 (市民スポーツアンケート調査)	33.6%(H27)	40.0%(R7)

【主な取組】好きな時に好きなスポーツを楽しめる環境整備

事業、施設、情報提供等を充実し、好きな時に好きなスポーツを、気軽に楽しめる環境整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市民総合体育館スポーツジム・スタジオの利用人数	51,070人/年 (R1)	⇒ 52,000人/年 (R7)

12-2 「観る」(環境整備)

様々な交流やシティセールスを目的として、大会の誘致、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン³⁸・共生社会ホストタウンとしての取組などを通じ、「観る」環境整備を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツを会場等で観戦したことがある市民の割合 (市民スポーツアンケート調査)	20.9%(H27)	25.0%(R7)

【主な取組】大会等誘致によるスポーツ活動・地域交流・シティセールスの充実

レスリング、ハンドボール、セパタクローなどの全国規模の大会の誘致や関連した体験教室の開催等を通じ、スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツ活動、地域交流、シティセールスの充実を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
全国規模の大会等の実施回数	4回/年(R1)	⇒ 5回/年(R7)

脚注

38 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、地域の活性化や観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る自治体



12-3 「支える」(環境整備)

地域スポーツ団体等の活動支援、富士見 TOP サポーター³⁹の活動機会の充実、レスリングのまち富士見市の推進などを通して、市民を主体としたスポーツ活動の充実を目指し、「支える」環境整備を推進します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	スポーツに関するボランティア活動の参加率 (市民スポーツアンケート調査)	8.0% (H27)	10.0% (R7)

【主な取組】スポーツ団体等への活動支援 富士見 TOP サポーターの東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後を含めた活動、スポーツ団体による普及活動や大会、イベントなど、市民による地域スポーツ活動を支援します。			
	【KSF】	現 状 値	目 標 値
	富士見 TOP サポーターのイベント、大会等の活動人数	延べ 230 人 / 年 (R1)	延べ 250 人 / 年 (R7)

関連するSDGsゴール



市民が、平等かつ公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上の基盤づくりとして、スポーツを通じたつながりの醸成に取り組めます。
関連ターゲット (4-2、4-3)



経験や知識、技術を共有しながら多様なスポーツ機会を提供し、様々なパートナーシップを推進するとともに、スポーツを通じたつながりの形成に取り組めます。
関連ターゲット (17-17)

脚注

39 東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する事業等を一緒に支えてくれるボランティア



関連計画等

- 富士見市スポーツ推進計画（平成29年度～令和3年度）
- 第2次富士見市教育振興基本計画（平成30年度～令和4年度）
- 第3次富士見市生涯学習推進基本計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

- 協働推進部 文化・スポーツ振興課
- 健康福祉部 健康増進センター
- 教育部 生涯学習課



分野9 文化芸術・文化財

基本政策13

心豊かな生活を送ることができる

市民とともに培ってきた文化芸術の土壌を活かし、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に触れられる機会の創出により、市民一人ひとりが、心豊かな生活を実感できる“まち”を目指します。

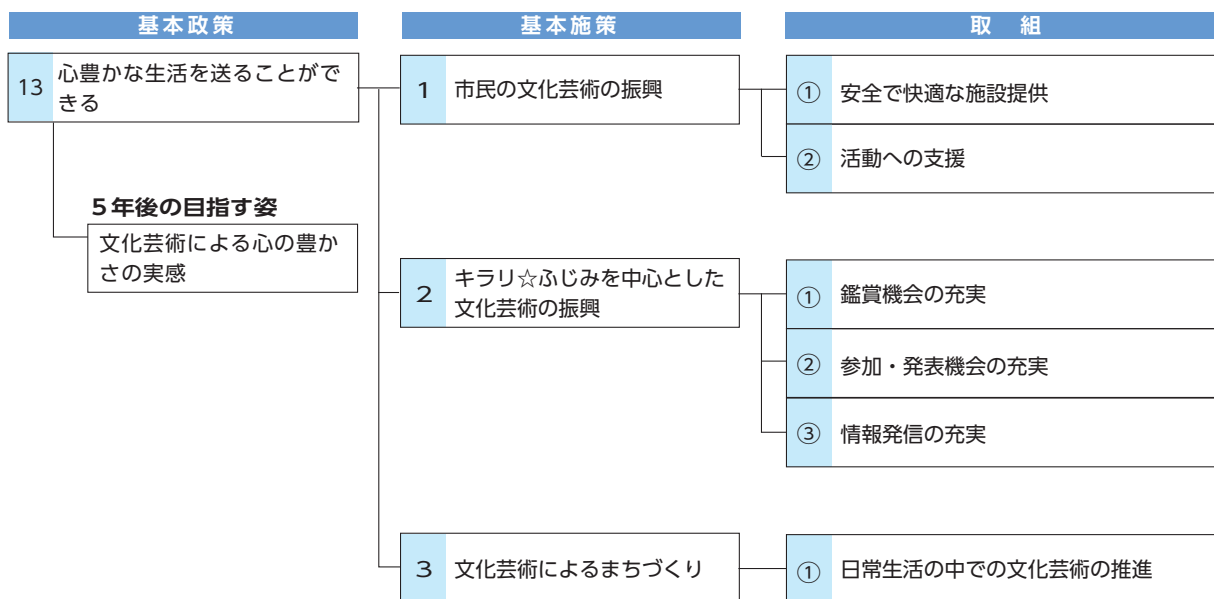
5年後の目指す姿

「文化芸術による心の豊かさの実感」

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に親しむことができるように、活動環境や鑑賞機会を充実させるとともに、わかりやすい情報発信に努め、文化芸術による心の豊かさを実感できることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
「市民文化の創造」に対する満足度 (市民意識調査)	51.7% (H30)	56.2% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

13-1 市民の文化芸術の振興

安全で快適な施設の提供や活動に対する様々な支援により、市民が文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを進め、市民の文化芸術を振興します。

	指標	現状値	目標値
KPI	文化芸術活動環境に対する満足度 (web アンケート)	39.0% (R2)	50.0% (R7)

【主な取組】安全で快適な施設提供

誰もが安全で安心して利用できる快適な活動環境を提供するため、ユニバーサルデザインにも配慮し、公共施設マネジメント⁴⁰の個別施設計画と連動した計画的な施設の修繕・改修を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
公共施設マネジメントによる個別施設計画の策定・運用	—	⇒ 策定・運用 (R7)

13-2 キラリ☆ふじみを中心とした文化芸術の振興

文化芸術の発信拠点であるキラリ☆ふじみを中心として、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に接することや、参加することのできる環境づくりに取り組むことで文化芸術を振興します。

	指標	現状値	目標値
KPI	文化芸術事業に対する満足度 (web アンケート)	33.3% (R2)	50.0% (R7)

【主な取組】鑑賞機会の充実

日頃から文化芸術に親しむ方々だけでなく、仕事や子育てなどに追われ、文化芸術に触れる機会の少ない方々にも、キラリ☆ふじみを中心とした身近な公共施設で文化芸術に親しめる機会を創出します。

【KSF】	現状値	目標値
鑑賞会等の参加者数	32,449 人 (R1)	⇒ 現状より拡大 (R7)

脚注

40 安全で安心な公共施設機能の提供と安定した財政運営を両立するため、市が保有する全ての公共施設について、総合的かつ統括的に、企画、管理及び利活用を進め、経費の削減や平準化を行うもの



13-3 文化芸術によるまちづくり


あらゆる地域資源の活用等により、日常生活の中で文化芸術に親しむことができる機会を充実し、文化芸術によるまちづくりを推進します。


	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	「豊かな生活が送れている」と回答した割合 (web アンケート)	40.0% (R2)	50.0% (R7)

【主な取組】日常生活の中での文化芸術の推進
身近な場所を活用したコンサートの実施やまちなかを活用したアート空間の創出など、日常生活の中での文化芸術を推進します。

	【KSF】	現 状 値	目 標 値
	文化芸術アクションプラン ⁴¹ 事業数	56 事業 (R1) ⇒	維持 (R7)

関連するSDGsゴール

 4 誰の思いも届く
みんなに
誰もが文化芸術を、観て、触れて、体験できる環境の提供に取り組みます。
関連ターゲット (4-7、4-a)

 8 豊かになる
働きがいも
収入も
増える
日常生活の中で文化芸術に親しめる機会を創出し、地域の文化振興に取り組みます。
関連ターゲット (8-9)

関連計画等

富士見市文化芸術振興基本計画 (平成 26 年度～令和 5 年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課、交流センター、コミュニティセンター
教育部 公民館

脚注

41 富士見市文化芸術振興基本計画に基づき、毎年度実施する取組をまとめたもの





キラリ☆ふじみでの子ども向けコンサート



駅コンサート



分野9 文化芸術・文化財

基本政策14 地域の歴史や伝統文化を通して地域に魅力を感じる

地域独自の歴史や伝統文化を学ぶ、体験する機会を通して、郷土に魅力を感じ、愛着と誇りを抱ける“まち”を目指します。

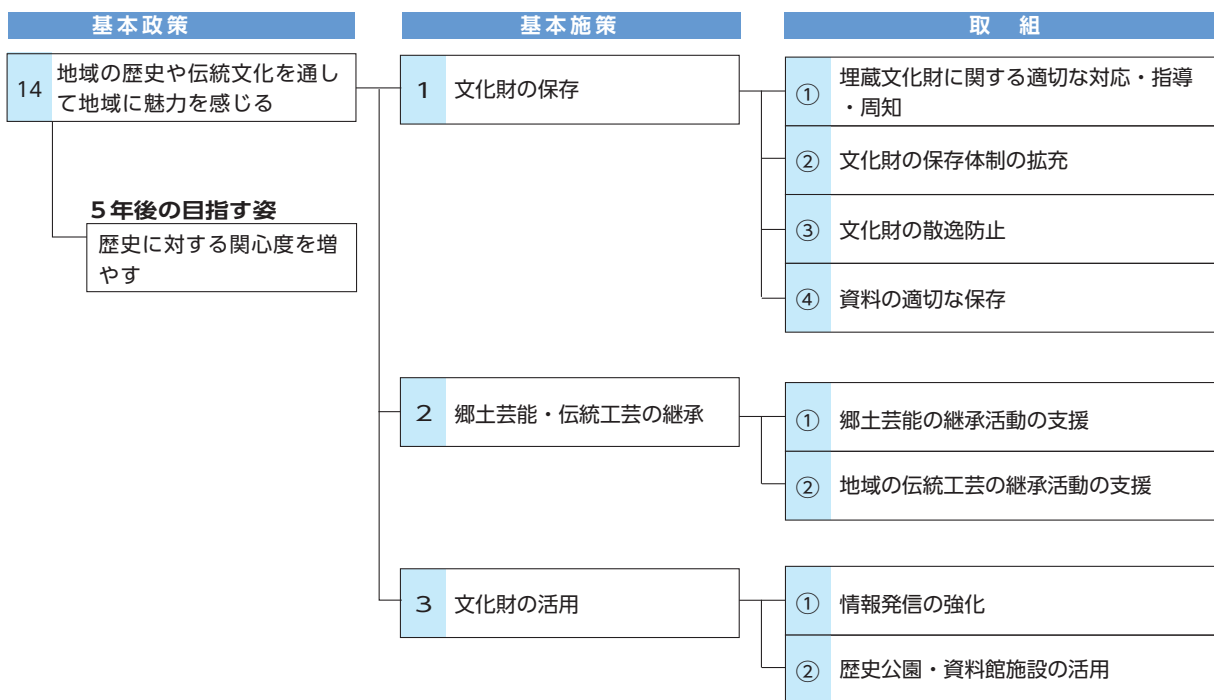
5年後の目指す姿

「歴史に対する関心度を増やす」

地域の歴史、文化の継承を支えるため、市民が率先して学習や体験の場に参加するなど、魅力ある資源として、自分たちのまちの歴史や郷土芸能に関心を持つことを目指します。

数値目標	現状値	目標値
「富士見市で魅力ある資源」としての、「歴史・史跡等」の回答割合（市民意識調査）	20.0%（H30）	25.0%（R7）

【ロジックモデル】



基本施策

14-1 文化財の保存

文化財を良好な状態で管理できる環境を整備することで、市内に所在する歴史資源、文化資源を適切に保存し、後世に残していくことを目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	市指定文化財の総件数	33件(R1)	36件(R7)

【主な取組】文化財の保存体制の拡充

文化財を適切に保存、活用していくために、資料を効率的に収蔵、管理できる施設を含めた文化財の保存体制を拡充します。

【KSF】	現状値	目標値
保管施設の集約化	3ヶ所(R1)	⇒ 1ヶ所(R7)

14-2 郷土芸能・伝統工芸の継承

市民と協力し、後継者の育成や支援をしていくことで、地域で守り継がれてきた郷土芸能や伝統工芸が途絶えることのないよう継承していくことを目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	「富士見市で魅力ある資源」としての「郷土芸能」の回答割合（市民意識調査）	1.6%(H30)	2.0%(R7)

【主な取組】郷土芸能の継承活動の支援

郷土芸能や保存団体の活動を情報発信するなど、地域の郷土芸能の継承活動を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
市指定文化財の郷土芸能保存団体の活動事業数	37件(R1)	⇒ 維持(R7)



14-3 文化財の活用

市民が郷土の歴史、文化をまちの魅力と感じられるように、文化財の活用事業を充実します。

	指 標	現 状 値	目 標 値
KPI	資料館来館者数 (水子貝塚資料館・難波田城資料館)	99,942 人 / 年 (H30)	110,000 人 / 年 (R7)

【主な取組】 歴史公園・資料館施設の活用

地域の歴史、文化の特徴を生かした講座や体験イベントを企画し、歴史公園や資料館施設を市民との協働により活用します。

	【KSF】	現 状 値	目 標 値
	主催・共催事業実施数	38 回 (H30)	⇒ 210 回 (5年累計)

関連するSDGsゴール



市民に、文化財を通して、質の高い知識を習得する機会を提供します。
関連ターゲット (4-7)



地域の歴史・文化を保存・継承・活用し、文化遺産の保護・保全への意識を高めていきます。
関連ターゲット (11-4)

関連計画等

第2次富士見市教育振興基本計画（平成30年度～令和4年度）

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課
教育部 生涯学習課、資料館





鶴馬諏訪神社獅子舞 (市指定無形民俗文化財)



打越式土器 (市指定有形文化財)



分野10 生涯学習

基本政策15 自由な学びにより生きがいができる

心豊かに暮らせるまちづくりの実現のため、市民一人ひとりが自由に学び、生きがいを実感できる“まち”を目指します。

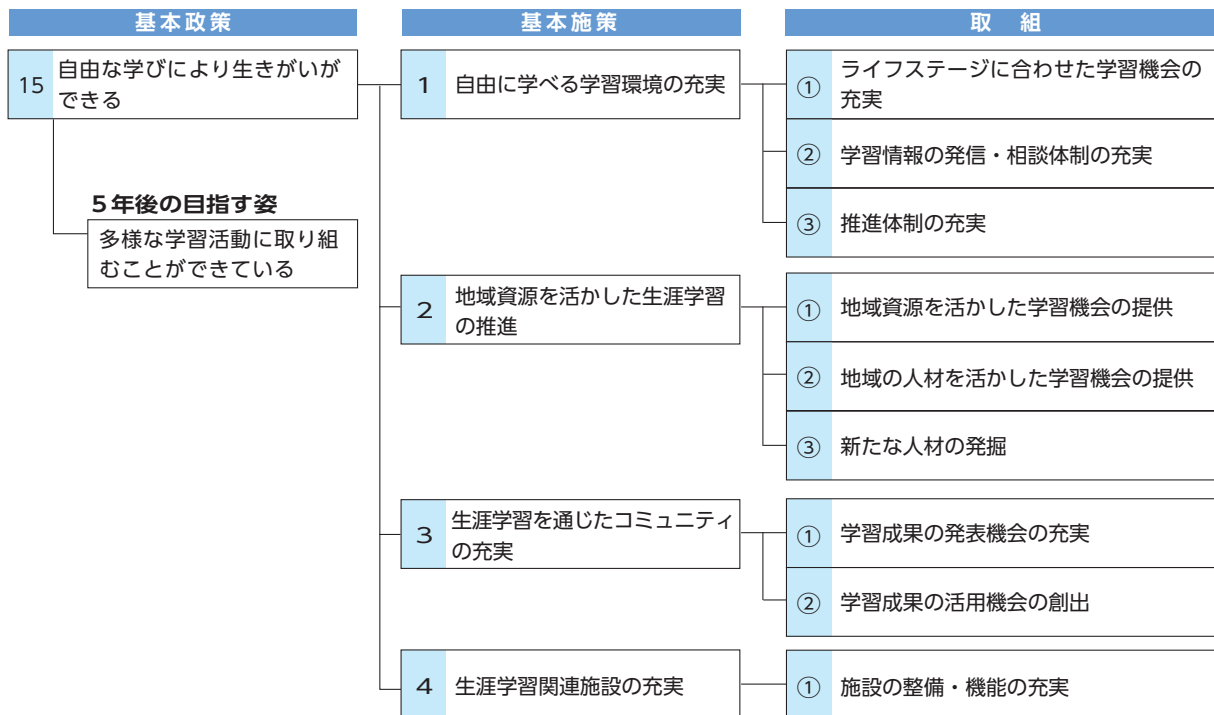
5年後の目指す姿

「多様な学習活動に取り組むことができる」

市民一人ひとりの様々な学びの意欲に応じることにより、生きがいを感じられるよう、多様な学習活動に、主体的に取り組めることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
学習により生きがいを感じていると回答した人の割合 (web アンケート)	39.5% (R2)	50.0% (R7)

【ロジックモデル】



基本施策

15-1 自由に学べる学習環境の充実

ライフステージに応じた学習機会の提供や、学習情報の発信、相談体制の整備などにより、いつでも、どこでも、誰でも学べる学習環境の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	学習活動支援に対する満足度（市民意識調査）	45.6% (H30)	50.0% (R7)

【主な取組】ライフステージに合わせた学習機会の充実
ライフステージのニーズに合わせた学習機会の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
自分のライフステージに合った事業が行われていると感じる人の割合（web アンケート）	14.7% (R2) ⇒	25.0% (R7)

15-2 地域資源を活かした生涯学習の推進

自然環境、産業、歴史、郷土芸能などの地域資源や、知識や経験を持つ多彩な市民を活かした生涯学習を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	人材バンクを活用して「よかった」と回答した人の割合	89.0% (R1)	90.0% (R7)

【主な取組】地域資源を活かした学習機会の提供
水子貝塚などの各種遺跡、獅子舞やお囃子などの郷土芸能、びん沼自然公園などの豊かな自然環境、キラリ☆ふじみを中心とした文化芸術など、本市が持つ多彩な地域資源を活用した学習機会を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
地域の産業や資源、歴史や文化を活かした事業数	18 事業 / 年 (R1) ⇒	20 事業 / 年 (R7)



15-3 生涯学習を通じたコミュニティの充実

市民と地域とのつながりを深めるため、生涯学習における学習成果の発表や学び合い、市民同士の交流の機会などを通じてコミュニティの充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習を通じて「つながり」を感じている人の割合 (web アンケート)	29.2% (R2)	40.0% (R7)

【主な取組】 学習成果の発表機会の充実

様々な生涯学習活動を通じて学んだ知識や経験、成果を発表できる機会を充実します。

	【KSF】	現状値	目標値
	文化祭等の参加人数	21,000 人 / 年 (H30)	⇒ 22,000 人 / 年 (R7)

15-4 生涯学習関連施設の充実

多様化する学習形態への対応と、誰もが安全で使いやすいユニバーサルデザインに配慮した、生涯学習関連施設の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習の活動できる環境に対する満足度 (web アンケート)	15.1% (R2)	25.0% (R7)

【主な取組】 施設の整備・機能の充実

多様化する学習活動を支援するため、公民館や交流センター、図書館などの機能の充実と計画的な施設整備に取り組みます。

	【KSF】	現状値	目標値
	各公民館・交流センター・コミュニティセンター・ピアザ☆ふじみ・図書館の利用者数	582,747 人 / 年 (H30)	⇒ 585,000 人 / 年 (R7)



関連するSDGsゴール



市民が平等かつ公正に学ぶ機会を保障し、学びが生きがいづくりと心豊かに暮らせるまちづくりにつながるよう取り組みます。

関連ターゲット (4-2、4-3、4-5、4-7)



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、生涯学習機会や支援等の充実に向け、協力していきます。 **関連ターゲット (17-17)**

関連計画等

第2次富士見市教育振興基本計画（平成30年度～令和4年度）

第3次富士見市生涯学習推進基本計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

協働推進部 交流センター、コミュニティセンター
教育部 生涯学習課、公民館、資料館

